

水産業の未来の為に出来る事を考える



CONTENTS

特集 第4回 海幸彦-UMISACHIIHIKO-

FISHING POLITICS 漁政

漁船救助システム説明会

平成 21 年度第 1 回漁業就業者確保育成センター全国会議

宮崎海域資源回復計画

漁業経営セーフティーネット構築事業等説明会

ロケット打上げ案内

FISHERY MANAGEMENT 漁協経営情報

漁協通常総会・総代会

BUSINESS 業務情報

川南町漁協 給油施設完成

おさかな体験教室

FISHERIES CO-OPERATIVE 漁連情報

平成21年度第2回内部監査実施

宮崎の初春を味わえ「かつおづくし定食」

FISHERIES EXPERIMENT 水産試験場

宮崎県の漁場環境について
—水産試験場 増殖部—

2月の動き(県関係)

RELATED ORGANIZATION 関係機関

まぐろ漁業問題検討会

かつお漁業問題検討会

2月の動き

SUISAN MIYAZAKI 03

水産宮崎ダウンロードサービス

※必要な方はコチラから A4 サイズで出力出来ます。



北浦まき網組合会長
申栄丸船長
中森秀樹氏



北浦漁協（延岡市北浦町）

UMISACHIKO

県内最大のまき網漁業の基地、北浦町。入り組んだ海岸線が続き、波穏やかな入り江に停泊する大小の漁船の姿。船の多くはまき網船。ちょうど、毎月満月の頃にする休漁時期で、船が母港に戻っている時でした。
まき網漁業は、夜間船に灯りをつけて魚を集め網で巻くように獲る漁法のため、満月の夜を挟んだ5日間は毎月の休みになるのです。
その貴重な休みに、北浦まき網船の船主で、まき網組合会長を務める中森秀樹さんにお話を伺いました。





海幸彦
インタ
ビュー

◎ 今月の海幸彦

北浦まき網組合会長 申栄丸船長 中森秀樹氏

■まき網漁業とは？

まき網は灯りをつけて魚群を集める探索船(灯船)と魚を獲る本船(網船)、魚を港へ運ぶ運搬船が船団を組んでやります。申栄丸は19トンの網船で、漁に出る時は探索船2隻、運搬船2隻で漁をします。

まき網は、魚群を見つけて集めたら、本船が群れを巻くように網を入れ、入れ終わったらすぐに網の底を引き締めて閉じ、引き上げにかかります。各船のチームワークが大事です。

沿岸のまき網漁は毎日出漁する？

天候次第ですが、条件がよければ毎日でも。夕方港を出て、朝方帰ります。漁場は県内の沿岸なので、北浦から遠いところで漁をすれば近くの港に帰ることになります。

夜通しの漁なんですね。

そうですね。乗組員は漁場まで休むこともできるんですが、船長は操船しますから帰港するまでずっとですね。でもいい漁ができて、このくらい値がつくかなと思ってその通り、それ以上になるとやっぱり嬉しい。それが一番のやりがいですね。

月に休みは5日とのことですが、休みの日は何をしていますか？

休みはゆっくりしたいところですが、網の手入れもあるし、船長は船の手入れなど、仕事が結構あります。

どんな魚を獲っているんですか？

アジ、サバ、イワシが主です。北浦灘アジも私たちが獲っています。



漁船から水揚げ作業。獲れたのはイキのいいムロアジ





海幸彦
インタ
ビュー

■宮崎県ブランド魚「北浦灘アジ」も獲っているんですね！
ブランド認証が2003年ですが、認証後は獲る気持ちが違いますか？

そりゃ違います。北浦灘アジは、人が手を触れずにイキのいい状態で漁港まで持ち帰らないといけないので、とにかく丁寧に作業します。灘アジに限らず、丁寧な作業を心がけていますよ。
いい魚を獲って市場に出せば、いい値で売れます。おいしい魚を食べてもらって、そこにいい値段がつくのはいいことです。



出荷直前の北浦灘アジ。北浦漁協まき網船協業体の船団が宮崎県沿岸で獲ったマアジを、海上生け簀で1週間以上畜養したもの

■中森秀樹さん プロフィールとこれから

船に乗るきっかけ

祖父の代から船主で3代目になります。船も漁業も生まれた時からあるので、水揚げの手伝いは子どもの頃からやってました。ですからこれを仕事として目指したというより、やっぱりこれかなという感じで19歳で船に乗りました。

船長として

ベテランの海の男たちに鍛えられながら、申栄丸の船長になったのは2001年ごろ。チームで漁をしますが、最後は船長の決断です。1つ判断ミスをすれば数百万円違うこともあるんです。いろいろ思うことはありますが、とにかく、いい結果を願って安全に、ひたすら漁することを考えています。




未来の海幸彦 Vol.01 北浦漁協 酒井健史氏

ひと言

北浦灘アジは北は仙台、南は鹿児島まで、全国20数カ所の市場に出ています。
北浦どれの魚、もっと食べてもらえるよう、頑張ってます！



 吉本工芸有限会社

 Yoshimoto Decorative Arts

屋内外総合広告看板・イベント会場デザイン制作・レーザー彫刻
インクジェット出力・カッティング切文字制作・ディスプレイ

心 茂 美

〒880-0852 宮崎市高洲町51-4 Tel:0985-25-2971 Fax:0985-27-4144
<http://www.yoshimotokougei.co.jp>

漁船救助システム説明会



漁 船からの転落時に無線局が転落情報を瞬時にキャッチし速やかな救助活動を行うことが可能となる。漁船救助システムを広く漁業者の方に知ってもらうため、県・漁連及びメーカの太洋無線株式会社において、2月17日から19日の3日間、県下10会場において説明会及びデモンストレーションを行った。説明会では、機器の作業方法や事故の際の捜索までの救助情報の流れ等説明し、人命にかかるため参加された方は真剣に聞き入っていた。



平成21年度 第1回漁業就業者確保育成センター全国会議

平 成22年2月26日に東京都コープビルにおいて、漁業就業者確保育成センター全国会議が開催された。全国漁業確保育成センター小坂智規センター長及び水産庁漁政部企画課山下課長補佐の挨拶の後、(1)平成21年度全国漁業確保育成センターの事業実施状況について(2)平成22年度全国センターの事業計画等について説明がなされた。次に、(3)平成21年度漁船安全操業の推進に係る優良団体表彰があり、引き続き、各地の取組について①JFLまね 太田支所 宅和徹氏から、新規漁業確保育成センターが実施するフェアに平成15年より参加し、毎年2名程度の担い手が新規に就業している実績が報告された。また、②ヒロ・コーポレーション 専務 四宮浩氏から、NPO海都を立ち上げ地元のハモの鮮度保持や加工の取組について報告がされた。次に、③青森県信用漁業協同組合連合会 組織強化部次長 片川慶一氏からライフジャケットの着用推進について報告がなされた。

宮崎海域資源回復計画

資源回復計画とは

緊急に資源の回復を図ることが必要な魚種を対象とし、減船、休漁等を含む漁獲努力量の削減をはじめ、積極的な資源培養、漁場環境の保全等を内容とする計画であり、対象魚種の分布範囲により国又は都道府県が作成主体となっています。



資源回復のために講じる措置

1. 漁獲努力量の削減措置

産仔親魚の保護、小型魚の保護によって資源の回復を図るため、かご延縄漁業に対して産仔期間を禁漁期とするとともに、全ての漁業に対して産仔年齢に達しない小型魚の再放流による漁獲努力量の削減措置を講じます。



2. 資源の積極的培養措置

カサゴ資源の積極的培養を図るため、県下全域に合計30万尾程度のカサゴ稚魚を放流します。また、放流効果を高めるため、放流場所は、放流後一定期間は禁漁となる場合があります。



3. 漁場環境の保全措置

カサゴ資源の回復を図るためには藻場の回復等漁場環境の改善が必要不可欠であることから、計画期間中に、藻場造成等に対する取り組みについても漁業者等と連携を図り積極的に行うこととします。



海においても決まりごとがあります。ルールを守って楽しもう！

遊漁者ができる漁具・漁法は次のものに限られています。

- 単釣り及び手釣り**: トローリングはできません。
- たも網及び、さで網**: 別は貝とは、陸地に於いて砂を巻き上げて貝殻を採るものです。やすこは、網を手に持って魚を突き刺して採るもので、貝殻・貝殻するものは含まれません。貝、貝殻等の採取の使用が禁止されています。
- 獲...網**: 船を駆動してはいけません。
- は貝・やす**: 船を駆動してはいけません。水争船は使用できません。
- 徒手採捕**: 潜水器を使用してはいけません。

漁業権とは...

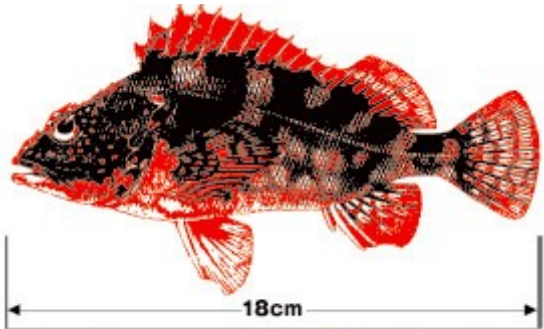
沿岸域には、漁業者の生産を確保するため、漁業法に基づき知事の免許により「漁業権」が設定されています。漁業権とは、一定の水面で特定の漁業を排他的に営む権利であり、下記の種類があります。

定置漁業権	大型の定置漁業を営む権利です。
区画漁業権	一定の区域内で養殖業を営む権利です。
共同漁業権	一定の水面を共同に利用して漁業を営む権利であり、採介藻漁業、固定式刺網漁業、小型定置網漁業等があります。漁業協同組合に免許され、漁業権の区域内では組合の管理の下で、組合員が漁業を営んでいます。

漁業権が設定されている水面で、漁業権の対象となっている漁業(定置漁業、養殖業、採介藻漁業、固定式刺網漁業等)の操業を妨害したり、漁場を荒らすようなことがあれば、漁業権侵害として告訴され、20万円以下の罰金に処せられることがあります。特に採介藻漁業等を行っている漁場内では、組合員が稚貝や稚エビ等を放流するなど漁場を管理しています。そのような漁場でアワビ・サザエ等の貝類、ワカメ・テングサ等の海藻類、イセエビやタコ等の定着性の水産動物を組合員以外の者が採ると漁業権侵害となる恐れがありますので、そのような漁場では採らないようにしましょう。

カサゴの採捕規制について

カサゴは、本県の沿岸域に広く生息する大変美味しい魚ですが、年々漁獲量が減少しています。このため、県ではカサゴ資源回復計画を策定し、カサゴ稚魚の放流を強化するとともに、宮崎海区漁業調整委員会指示により、稚魚の保護区を設けるほか、カサゴの体長制限やかさご延縄漁業の操業規制を行うこととしました。この指示により、平成18年7月1日から漁業者だけでなく遊漁者にも次に掲げる規制が適用されますので、御協力をお願いします。



全長が18cmに満たない場合は採捕禁止

1.全長18センチメートル以下の小型魚採捕禁止

宮崎県では、カサゴ資源を増やす目的で全長18センチメートル以下のカサゴは採捕しないよう取り組んでいます。小さいカサゴを採捕した場合は、持ち帰らずに再放流し、大きくなるまで育てましょう。

2.種苗放流場所での一定期間採捕禁止

放流効果を高めるために取り組んでいます。採捕禁止区域と期間はお問い合わせください。

とってはいけないサイズの魚や貝たち

ブリ 全長15cm以下	カサゴ 全長18cm以下	イセエビ 体長15cm以下	ウナギ 全長25cm以下	ボラ 全長10cm以下
ハマグリ 殻長6cm以下	サザエ 殻高5cm以下	トコブシ 殻長4cm以下	アワビ 殻長10cm以下	真珠貝 殻長8cm以下

とってはいけない魚・貝・海藻の期間

はまぐり	7月1日～9月30日迄	てんぐさ	9月1日～翌年2月末日迄
イセエビ	4月15日～8月31日迄	あゆ	1月1日～5月9日迄

漁業経営セーフティーネット構築事業等説明会

平成22年3月15日東京都南青山会館において来年度から実施される漁業経営セーフティーネット構築事業等説明会が開催された。

本事業は、燃油高騰や餌料高騰に備え漁業者と国が基金を積む仕組みとなっている。説明会では、事業の仕組みや、燃油高騰の基準、事業のスケジュール等について活発な質疑がなされた。これを受けて本会では4月8日に水産庁を招き、県内漁協参事・担当者を対象として説明会を開催することとしている。

SCOTTISH FISHING POLITICS

ロケット打上げ案内

ロケット及びペイロードの名称及び機数

ロケット	H-IIAロケット17号機 ・H-2A202 ・4m径フェアリング	1機	ペイロード	主衛星	金星探査機(PLANET-C)	1基	
				小型副衛星	小型ソーラー電力セイル実証機(IKAROS)	1基	
				小型副衛星		UNITEC-1	1基
						WASEDA-SAT2(注1)	1基
						大気水蒸気観測衛星(注1)	1基
				Negai☆”(注1)	1基		

(注1)J-POD(JAXA Picosatellite Orbital Deployer)に格納、搭載される。

打上げの期間及び時間

ロケット機種	打上げ予定日	打上げ予定時刻 (日本標準時)	打上げ予備期間	海面落下時間帯 (打上げ後)
H-IIAロケット17号機 (H-IIA-F17)	平成22年 5月18日(火)	6時44分14秒	平成22年 5月19日(水)～ 6月3日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・固体ロケットブースタ 約6～10分後 ・衛星フェアリング 約11～26分後 ・第1段 約15～32分後

(注)打上げ時刻は、打上げ日毎6時44分14秒から7時53分35秒の間で設定する。

情報の提供

ロケット打上げの有無については、打上げ期間中、下記により情報が提供されますので、附近を航行する漁船及び一般船舶は、ロケット打上げ情報を聴取され、もし、ロケット落下予想区域を航行等されている場合は脱出時間等を考慮し、海面落下予定時刻以前に余裕を見て退避される等航行の安全を図られますようお願いいたします。

1. 漁船に対しては、漁業無線局からの無線通信によりお知らせします。
2. 一般船舶に対しては、海上保安庁からの水路通報によりお知らせします。

お問い合わせ先

1. 宮崎県漁業協同組合連合会 漁政課 Tel.0985-28-6111
2. 種子島宇宙センター Tel.0997-26-9140～2



漁協通常総会・総代会

11 月決算組合の平成21年度通常総会・総代会が一齐に開催され、平成21年度事業報告及び平成22年度事業計画等の提出議案を審議し承認決定した。
組織及び概況は次の通り。

1. 南郷漁協通常総代会(2月5日)

正組合員数	261名
准組合員数	36名
信用事業の貯金高	51億1,781万円
購買事業の取扱高	14億6,874万円
販売事業の取扱高	65億1,182万円
当期剰余金	2,008万円

2. 栄松漁協通常総会(2月9日)

正組合員数	79名
准組合員数	2名
信用事業の貯金高	8億2,276万円
購買事業の取扱高	1億2,004万円
販売事業の取扱高	4億9,709万円
当期剰余金	136万円

3. 外浦漁協通常総会(2月10日)

正組合員数	134名
信用事業の貯金高	26億6,635万円
購買事業の取扱高	5億9,899万円
販売事業の取扱高	21億9,119万円



♪海といっしょに 浜といっしょに♪

元気に暮らそう JF 共済

チョコ・暮らし・カサ・リコー
ねんきん・ラジコ・なぎさ年金

漁業協同組合・JF共済推進本部
<http://www.kyosuiren.or.jp>



川南町漁協 給油施設完成

昨年、10月より建設が進められていた川南町漁協の給油施設が本年2月末に完成、引渡が行われた。この給油施設は全漁連、県水産振興協会、川南町より助成を受けて建設されたものである。本施設は地元水揚げの増加したまぐろ延縄船を含む所属船への円滑な給油に対応するため、水深の浅い港奥部に位置し老朽化の著しかった従来のA重油50KLタンク2基を撤去し、水深の深い新たに整備された新港用地に新設したものである。規模は、A重油80KLタンク2基、計160KLの容量を有し、3箇所給油所と廃油処理装置等を備えている。



おさかな体験教室

2月20日(土)宮崎市立港小学校でおさかな体験教室を開催しました。4学年全員が出席し、マグロ解体・うるめイワシのおびき・塩焼きを体験しました。当日はやや寒い日和りでしたがマグロの解体が始まると4年生児童80名、児童の兄弟20名、保護者70名、教諭3名の見守る中、宮崎県おさかな普及協議会連合会の職員が鮮やかに捌いてゆく様子を真剣に見学学習しました。その後、各児童はイワシの尾引を職員の指導で行い、保護者が準備した炭火で塩焼きを行い持参した弁当でマグロの刺身、イワシの塩焼きを賑やかに試食。食後4年生児童全員による「ソーラン節」の演技を行い、盛況のうちに無事終了しました。発生したさかなの粗やゴミを児童が持ち帰るなど、先生・保護者の指導がテキパキとしていて主催した職員はさわやかな印象を受けました。



S
S
E
N
Z
I
S
D
B

平成21年度第2回内部監査実施



漁 連では、去る1月13日～2月18日(6日間)本所・各出先において平成21年度第2回内部監査を実施した。

監査の範囲及び監査方法

1. 組織・事業及び経営の合目適正・合法性について、試査を基礎とした。

監査手続

1. 実査、帳票、証憑書類による計数の突合等

監査実施期間及び所要日数

- 1月13～14日 県北(2日間)
- 1月27～28日 県南(2日間)
- 2月10～18日 県央(2日間)

宮崎の初春を味わえ「カツオづくし定食」

魚 乃里「ぎょれん丸」では、宮崎で獲れるかつおを県民に広く味わっていただくこと、4月下旬までカツオフェアとして「かつおづくし定食」(写真)を提供しています。

また、フェア期間中「鰹たたき定食」「鰹めし定食」には、鰹を使った小鉢をサービスしています。この機会に是非お立ち寄り下さい。



JF宮崎漁連直営店

ぎょれん丸

魚乃里

宮崎県水産物 ブランド品が 食べたい!

【営業時間】
【直売所】 月～木 AM10:00～PM5:30
 金～日 AM10:00～PM8:00

【レストラン】
昼の部 月～木 AM11:00～PM2:30 (昼のみ)
夜の部 金～日 AM11:00～PM2:30
 PM 5:00～PM8:30

【問い合わせ】
〒880-0858 宮崎県宮崎市港2丁目6番地
TEL.0985-28-6114

宮崎県の漁場環境について — 水産試験場 増殖部 —

水 産試験場では養殖漁場が適正に利用されているかを把握するため、定期的な漁場環境調査を実施しています。養殖漁場の適正な利用は、赤潮による養殖魚の大量へい死や魚病の発生を未然に防ぐだけではなく、近年、とりわけ消費者の関心が高い“安全で安心な”水産物を安定的に生産し供給する基礎となります。今回は水産試験場が実施しております調査結果をもとに県内の養殖漁場環境の現状について報告します。

北浦湾養殖漁場環境について

図1は、北浦湾における養殖生産量と海底に含まれる硫化物量(AVS-S)の経年変化を表しています。硫化物は生物にとって有害であり、底泥に含まれる硫化物量がある一定量を超えると有機物を分解する底生生物に影響を及ぼします。健全な漁場を維持するため、本県の関係漁協では底泥に含まれる硫化物量を0.17mg/g·dry以下とする漁場改善目標基準を定めています。

北浦湾における硫化物量(AVS-S)の推移をみますと、昭和60年前後が最も高く、その後低下傾向に転じています。平成10年頃から養殖生産量が再び増加したことにより、一時、硫化物量(AVS-S)も上昇しましたが、近年では目標基準である0.17mg/g·dryを大きく下回る値で推移しています。

漁場環境が改善した要因の一つとして、給餌餌料が生餌からモイストペレット(MP)若しくはエクストルダペレット(EP)に変わったことが挙げられます。北浦湾ではブリ類養殖における配合飼料の導入は平成4年から開始され、現在ではほとんどのブリ類養殖業者がMPもしくはEPを給餌しています。今後も適切な飼育環境レベルが維持されることを期待します。

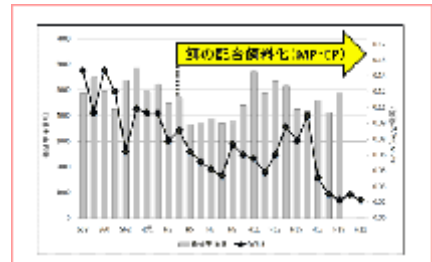


図1.北浦湾における養殖生産量と硫化物量の推移

浦城湾養殖漁場環境について

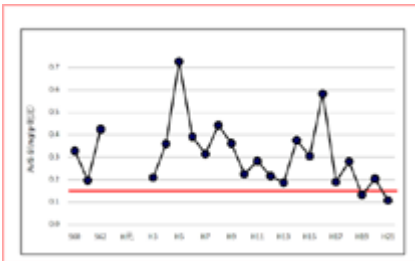


図2.浦城湾における硫化物量の推移

図2は浦城湾における養殖生産量と海底に含まれる硫化物量(AVS-S)の経年変化を表しています。浦城湾内における魚類養殖の歴史は本県では最も古く、本格的な養殖生産は昭和36年から始まり、昭和40年には養殖生産量はハマチ116,300尾、シマアジ13,400尾まで増加しましたが、漁場環境の悪化、餌の高騰等の理由から徐々に衰退し、湾内での魚類養殖は平成12年以降行われていません。近年は漁場改善目標基準0.17mg/g·dryを下回る値が観測され、改善の兆しが見え始めています。浦城湾のように閉鎖性が強い海域は一度漁場が悪化すると回復までに時間がかかることが予想されますが、浦城湾は改善の兆しが見られるまでに約10年の歳月を要したことになります。

尾末湾養殖漁場環境について

図3は尾末湾における養殖生産量と海底に含まれる硫化物量(AVS-S)の経年変化を表しています。尾末湾は昭和60年代と比較すると著しい改善傾向にあり、平成21年は漁場改善目標基準0.17mg/g·dryを下回る値が観測されました。

しかし、北浦湾と比較すると年による変動が大きく、安定性にやや欠ける面があるため今後も注視していく必要があります。

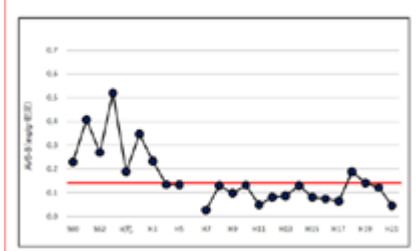


図3.尾末湾における硫化物量の推移

FISHERIES EXPERIMENT

串間ビンダレ漁場環境について

図4は串間ビンダレ漁場における養殖生産量と海底に含まれる硫化物量(AVS-S)の経年変化を表しています。串間ビンダレ漁場は漁場改善目標基準0.17mg/g・dry前後を推移していましたが、近年は低下傾向にあり、また、以前は度々発生していた貧酸素水塊も本年度は確認されませんでした。

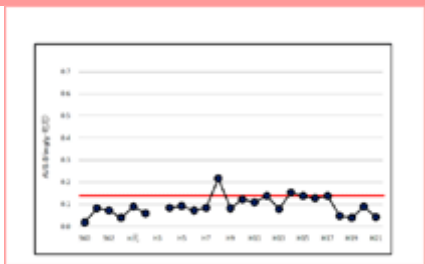


図4.串間ビンダレ漁場における硫化物量の推移

北浦湾で観測された特徴的な水温変動について



図5.30分毎の水温時系列(上)及び黒潮流軸距離(下)



図6.30分毎の水温時系列(上)及び黒潮流軸距離(下)

水産試験場では、平成18年度から防水型温度計測口ガーを用いて、北浦湾内の水温連続観測を実施しています。その観測結果から、平成19及び20年度に短日間に2℃以上水温が急上昇する現象が観測されました。図5は平成19年に観測した30分毎の水温時系列(上)と黒潮流軸距離(下)を表しています。8月1日の午前6時の時点では23.6℃であった水温が17時間後の午後11時には27.9℃にまで上昇し、17時間で水温が4.3℃も上昇しました。この水温の急上昇が観測された数十時間前に都井岬沖の黒潮流軸位置は接岸傾向に転じており、表層水温を示した人工衛星画像(MODIS)から黒潮暖水波及が北浦湾沖まで伸びているのを確認することができます。次に、図6は平成20年に観測した30分毎の水温時系列(上)と黒潮流軸距離(下)を表しています。平成20年度にみられた水温の急上昇は冬期に発生しており、11～12月にかけて2～3日間のうちに2～3℃上昇する現象が4回観測されました。この時期の都井岬沖及び足摺岬沖の黒潮流軸位置は長期間にわたり接岸傾向にありました。以上のことから、北浦湾で発生する水温の急上昇は黒潮暖水波及の影響を受けていると推察され、今後も水温の連続観測を継続することで北浦湾海域で発生する急上昇の要因を明らかにしていきたいと考えています。また、このような水温変動をリアルタイム情報として漁業関係者の方々に提供できるシステムを検討しているところです。

最後に

日頃より漁場環境調査に御協力いただいている漁協及び養殖業関係者の皆様にはこの場をお借りして感謝申し上げます。引き続き、調査への御協力をお願いします。

海面の着色、異常を確認された場合は、水産試験場(0985-65-1511)又は地元振興局(東臼杵農林振興局:0982-32-6135・南那珂農林振興局:0987-23-4312)まで御連絡ください。

2月の動き (県関係)

1日	第2回第五次宮崎県水産業・漁村振興長期計画検討専門部会(宮崎市)
9日	平成21年度宮崎県水産業・漁村振興協議会(宮崎市)
16日	海区漁業調整委員会(宮崎市)

忘れてませんか? あなたの命を守る大切なもの。
救命衣、着用していますか?
資材の購入は系統へ 漁協・漁連・全漁連
お問い合わせ先 宮崎県漁業協同組合連合会業務部 TEL 0985-28-6111

まぐろ漁業問題検討会

近 海まぐろ延縄漁業の関係者が相互に意見交換を行い、近海まぐろ延縄漁業に関係する資源や経営改善等について協議することを目的とした、近海まぐろ漁業問題検討会の第1回の検討会が2月12日、東京都のフォーラムミカサで開催され、県かつお・まぐろ漁業者協会から溝口副会長、河畑副会長、島田副会長の3名と事務局が参加した。

検討会では、会長及び副会長の人選が行われ、会長には保戸島鮪延縄漁業船主組合の大河浅利組合長が満場一致で選出された。

副会長においては、後日、各県より1名ずつ選出することとなった。その他、協議事項は次のとおり

1. 中西部太平洋まぐろ条約を巡る情勢について

- ・ 主要魚種の資源状況と保存管理措置について
- ・ 混獲生物に対する保存管理措置について
- ・ 遵守・取締りに関する措置について
- ・ IUU漁業について
- ・ 条約を通じた島嶼国の思惑・戦略について

2. 検討を要する課題について

- ・ 主要魚種に対する保存管理措置への対応等について
- ・ 条約オブザーバーへの対応について



かつお漁業問題検討会

全 国近海かつお・まぐろ漁業協会(会長 三鬼則行)は2月25日、ホテルクリオコート博多において、近海かつお漁問題検討会を開催した。かつお関係会員より船主、事務局が出席し協議を行った。

協議事項は次の通り

1. かつお一本釣り漁船のマルシップ制導入について
2. マリンエコラベルジャパンの取組について
3. 東京都八丈島海域に設置した浮魚礁の移設に関する話し合いについて
4. 沖縄県周辺海域における浮魚礁について
5. 第3回カツオ資源問題検討会の対応について



2月の動き

20日 お魚料理講習会(港小学校)

人と自然との調和

粒状粉石けん コンパクトタイプ

洗濯用液体石けん

わかしお を使おう!

資材の購入はJFグループ(漁協・漁連・全漁連)へ